

平成26年度（4月入学）

大学院薬学教育部  
(博士後期課程 創薬・生命薬科学専攻)

第2次学生募集要項

- 一般入試
- 外国人留学生入試
- 社会人入試

熊本大学

 Kumamoto University

大学院薬学教育部

Graduate School of Pharmaceutical Sciences

(Doctor's Degree Program)

## 熊本大学大学院薬学教育部のアドミッションポリシー

本教育部は「創薬・生命薬科学専攻」及び「医療薬学専攻」からなり、学士課程教育で培われた基礎薬科学、生命科学、医療系薬学および衛生・社会系薬学の素養を基盤にして、各専門分野で自立し、かつ指導性を発揮できる、いわゆる高度な薬の専門家および生命科学者の育成を目指している。本教育部「創薬・生命薬科学専攻」では、医薬品創製の現場で主導的役割を果たすゲノム創薬と基盤的創薬の研究者・技術者の育成、先端的な生命科学分野および環境科学分野の研究者・技術者の育成を目標とする。一方、本教育部「医療薬学専攻」では、臨床の現場で薬の本質を深く理解した医療の担い手として医薬品の適正使用に貢献できる高度な指導的臨床薬剤師の育成、疾病の予防及び治療に貢献する臨床研究者の育成を目標とする。

上記の理念・ミッションに沿った教育・研究を行い、各分野における基盤的研究および最先端の研究を通して薬学および生命科学の将来を担う高資質な人材を育成するため、本教育部「創薬・生命薬科学専攻」では次のような学生を求める。

- ・ 深い人間愛と国際性を涵養できる学生
- ・ 科学的探求心や知的好奇心が旺盛な学生
- ・ 多様な社会のニーズに即応できる、柔軟性豊かな学生
- ・ 自らの将来に対するビジョンと信念を有する学生
- ・ 問題提起能力および問題解決能力に優れる学生
- ・ 創薬科学・生命科学やその基礎となる科学に強い関心を持ち、医薬品の研究者・開発者、生命科学研究者あるいは教育者など、創薬科学や生命科学を通して社会に貢献しようという意欲を有する学生

さらに、本教育部は“地域社会に開かれた大学院”として、社会人に門戸を開き、薬剤師の資質向上を目指した生涯教育を実施している。

# 目 次

一般入試及び外国人留学生入試 .....	1
1. コース及び募集人員	
2. 出願資格	
3. 選抜方法	
社会人入試 .....	2
1. コース及び募集人員	
2. 出願資格	
3. 選抜方法	
共通事項	
1. 出願期間 .....	3
2. 提出書類等 .....	3
3. 検定料の払込方法 .....	3
4. 合格者発表 .....	4
5. 入学手続等 .....	4
6. 奨学金 .....	5
7. 国際交流会館入居申込み方法 .....	5
8. 注意事項 .....	5
出願資格の審査 .....	6
個人情報の取り扱い .....	6
指導教員及び研究内容一覧 .....	7
大学院薬学教育部（博士後期課程）入学試験実施状況 ..	8
入学志願票記入上の注意 .....	9
位置図 .....	（裏表紙）

## 添付書類

- ①学志願票 ②写真票・受験票・住所票 ③推薦書（社会人入試用）  
④研究（希望）計画書（社会人入試用）⑤検定料受付証明書貼付台紙 ⑥検定料払込用紙

# 一般入試及び外国人留学生入試

## 1. コース及び募集人員

○創薬・生命薬科学専攻

コース	コースの概要、理念等	コード	募集人員
ドラッグデリバリー	医薬品の体内動態評価、製剤化および薬物送達を行う医療系創薬研究者の養成を目指す。	01	10名
バイオフィーマ	医薬品の探索を行う生物系創薬研究者の養成を目指す。	02	
メディシナルケミストリー	医薬品のターゲットの発見と医薬品の合成を行う化学系創薬研究者の養成を目指す。	03	
ライフサイエンス	発生学や遺伝学などの生命資源学を専門基盤として再生医療や細胞医療を担う生命科学研究者の養成を目指す。	04	

(注) 1. 出願に当たっては、研究指導を希望する教員（7ページ記載）に必ずお問い合わせください。

## 2. 出願資格

### 一般入試

次の(1)～(6)のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成26年3月までに授与される見込みの者  
(ただし、本学博士前期課程を除く)
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成26年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成26年3月までに授与される見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成26年3月までに授与される見込みの者
- (5) 大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、平成26年3月までに2年以上研究に従事した者で、本教育部において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (6) 本教育部において、個別の出願資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成26年3月31日までに24歳に達している者

### 外国人留学生入試

日本国籍を有しない者で、一般入試の出願資格(1)～(6)のいずれかに該当するもの

(注) (6)の資格で出願しようとする者については、事前に出願資格認定審査を行うため、薬学事務チーム教務担当(電話096-371-4635)に必要書類を請求し、6ページ記載「出願資格の審査」の要領で申請を行ってください。

## 3. 選抜方法

(1) 入学者の選抜は、学力検査、口述試験、面接、成績証明書の結果を総合して判定します。

(2) 学力検査及び面接

[試験日時及び場所]

試験日	時間	検査科目	試験場
平成26年3月12日(水)	9:00～10:30	英語(科学に関する内容)	本学薬学部
	11:30～	口述試験(論文発表)	
	13:00～	面接	

※口述試験(論文発表)、面接の詳細な説明及び時間等の案内は、受験票送付時に一緒に送付します。

[受験上の注意]

1. 受験票は必ず携帯し、受験時は机上に置いてください。
2. 机上には、受験票、筆記用具、時計、消しゴム、鉛筆削り以外は置かないでください。
3. 携帯電話等の電源を切ってください。
4. やむを得ない理由で遅刻した場合、試験開始時刻後30分以内であれば受験を認めます。
5. 試験時間終了まで退室を認めません。
6. 不正行為をした者の解答は無効とし、以後の受験を認めません。

# 社会人入試

## 1. コース及び募集人員

○創薬・生命薬科学専攻

コース	コースの概要、理念等	コード	募集人員
ドラッグデリバリー	医薬品の体内動態評価、製剤化および薬物送達を行う医療系創薬研究者の養成を目指す。	01	若干名
バイオファーマ	医薬品の探索を行う生物系創薬研究者の養成を目指す。	02	
メディシナルケミストリー	医薬品のターゲットの発見と医薬品の合成を行う化学系創薬研究者の養成を目指す。	03	
ライフサイエンス	発生学や遺伝学などの生命資源学を専門基盤として再生医療や細胞医療を担う生命科学研究者の養成を目指す。	04	

(注) 1. 出願に当たっては、研究指導を希望する教員（7ページ記載）に必ずお問い合わせください。

## 2. 出願資格

病院、薬局、教育・研究機関、企業等に正規の職員として勤務しており、入学後もその身分を有し、所属長から推薦を受けた者で、次の(1)～(6)のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成26年3月までに授与される見込みの者
- (5) 大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、平成26年3月までに2年以上研究に従事した者で、本教育部において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (6) 本教育部において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成26年3月31日までに24歳に達している者

(注) (5)又は(6)の資格で出願しようとする者については、事前に出願資格認定審査を行うため、薬学事務チーム教務担当（電話096-371-4635）に必要書類を請求し、6ページ記載「出願資格の審査」の要領で申請を行ってください。

## 3. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、学力検査、口述試験、面接、提出された書類等の結果を総合して判定します。
- (2) 学力検査及び面接  
〔試験日時及び場所〕

試験日	時間	検査科目	試験場
平成26年3月12日(水)	9:00～10:30	英語(科学に関する内容)	本学薬学部
	11:30～	口述試験(論文発表)	
	13:00～	面接	

※口述試験(論文発表)・面接の詳細な説明及び時間等の案内は、受験票送付時に一緒に送ります。

〔受験上の注意〕

1. 受験票は必ず携帯し、受験時は机上に置いてください。
2. 机上には、受験票、筆記用具、時計、消しゴム、鉛筆削り以外は置かないでください。
3. 携帯電話等の電源を切ってください。
4. やむを得ない理由で遅刻した場合、試験開始時刻後30分以内であれば受験を認めます。
5. 試験時間終了まで退室を認めません。
6. 不正行為をした者の解答は無効とし、以後の受験を認めません。

# 共 通 事 項

## 1. 出願期間

平成26年2月27日(木)から3月6日(木)17時(必着)

出願は郵送とし、封筒の表面に「熊本大学大学院薬学教育部博士後期課程入学願書在中」と朱書きし、「書留速達」としてください。

【出願書類提出先】

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号 熊本大学学生支援部入試ユニット

## 2. 提出書類等

志願者は、次の提出書類等を取りそろえ、郵送により提出してください。

提出書類等	該当者	摘 要
入学志願票	全 員	所定用紙：記入方法については、9ページ「熊本大学大学院薬学教育部(博士後期課程)入学志願票(第2次)記入上の注意」を参照してください。
写真票・受験票・住所票	〃	所定用紙
写真(2枚)	〃	写真は、縦4cm×横3cm、上半身脱帽正面向き、出願前3か月内に撮影したものを写真票及び受験票に貼ってください。
修了(見込)証明書	〃	出身大学(大学院教育部・研究科)長が作成したもの。
成績証明書(学部・修士)	〃	出身大学(学部・大学院教育部・研究科)長が作成し、厳封したもの。
修士論文	〃	1部：修士論文が無い場合は、これに代わるもの。
修士論文の要旨	〃	1部：日本語(800字以内)又は英語(500字以内)
推薦書	社会人入試 志願者	所定用紙：勤務先の所属長が作成したもの。
研究(希望)計画書	〃	所定用紙：希望する研究テーマ又は分野について研究計画等(1,200字程度)を記入したもの。
薬剤師免許証の写し	該当者のみ	薬剤師免許取得者は、免許証の写しを1部添付してください。
受験票送付用封筒	全 員	長形3号の封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、350円分の切手(速達料を含む)を貼ったもの。
検定料	〃	30,000円：綴じ込みの支払用紙を使って、郵便局又は銀行の受付窓口で払い込んでください。検定料受付証明書を検定料受付証明書貼付台紙に貼ってください。
住民票の写し (法改正により2012年7月9日以降は「外国人登録原票記載事項証明書」に代わり「住民票の写し」が交付されます。)	外 国 人 志 願 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人の志願者は市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「住民票の写し」を提出してください。</li> <li>出願者以外の世帯員については、証明不要です。</li> <li>出願時に日本国内に在住していない者は、旅券の写しを提出してください。</li> </ul>

(注) 1. 有職者は、入学の際、所属長の承諾書が必要となります。

2. 改姓等により証明書の氏名と現在の氏名が異なる場合は、戸籍抄本を添付してください。

3. 入学後、提出書類及び記載事項に虚偽の記載が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。

## 3. 検定料の払込方法

(1) 検定料 30,000円

(2) 払込期間

平成26年2月26日(水)～3月6日(木)

### (3) 払込場所

郵便局又は銀行の受付窓口

振込手数料は、志願者本人の負担となります。

※ATM（現金自動預払機）は使用不可。必ず窓口で払い込んでください。

### (4) 払込方法

① 綴じ込みの「検定料払込用紙」に必要事項を記入して、必ず郵便局又は銀行の受付窓口（ATM（現金自動預払機）は使用不可）で払い込んでください。

② 振込後、受付窓口で受領した「検定料受付証明書」を「検定料受付証明書貼付台紙」に確実に貼り付けて提出してください。

### (5) 出願に際しての留意事項

① 検定料が払い込まれていない場合又は払込済の「検定料受付証明書」が「検定料受付証明書貼付台紙」の所定の欄に貼り付けていない場合は、出願を受理しません。

② 出願書類を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても払込済の検定料は返還しません。

(ア) 検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合

(イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

### ○返還請求の方法

返還請求の理由、志願者氏名（氏名の右側に押印願います）、現住所、志望大学院、郵便番号、連絡電話番号、振込口座〔銀行名（ゆうちょ銀行を除く）、支店名、普通預金の口座番号、口座名義（ふりがなも記入ください）、志願者氏名と口座名義が異なる場合は志願者との続柄〕を明記した検定料返還請求願（様式は問わない）を作成し、必ず「検定料受付証明書」を添付して速やかに郵送してください。

送付先 〒860-8555  
熊本市中央区黒髪2丁目39番1号  
熊本大学運営基盤管理部財務ユニット  
収入・支出チーム

## 4. 合格者発表

平成26年3月20日（木）11時

薬学部玄関前に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。

また、参考までに本学ウェブサイトにも掲載します。（11時頃の予定。当日の通信環境の状況等により遅れる場合があります。）

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/>

合格通知書の氏名については、コンピュータに登録する際に慣用字体を用いますので、志願者の表記と異なる場合があります。また、対応できない場合は、カタカナで表記しますのでご了承ください。

なお、電話等による可否の照会には一切応じません。

## 5. 入学手続等

入学手続の詳細については、合格通知書送付の際に同封します。

### (1) 入学手続期間及び方法

入学手続期間及び方法については、合格通知書送付の際にお知らせします

### (2) 入学手続時の注意事項

入学手続期間中に入学手続をしなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

### (3) 入学手続時の必要経費

入学料（予定額） 282,000円

（注）1. 入学料の額、入学料の納入方法、入学料免除及び徴収猶予制度については、合格通知書送付の際にお知らせします。

### (4) 入学手続に必要な書類等

① 誓約書 ② 保証書 ③ カラー顔写真（縦4cm×横3cm）

### (5) 授業料

前期分 267,900円（年額 535,800円）（予定額）

（注）1. 授業料の納入方法、授業料免除制度については、合格通知書送付の際にお知らせします。

2. 入学時及び在学時に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

## 6. 奨学金

日本学生支援機構奨学生に出願し、選考の結果により第一種奨学金（平成25年度は、月額80,000円、122,000円から選択）、又は第二種奨学金（平成25年度は、月額50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択）の貸与を受けることができます。

## 7. 国際交流会館入居申込み方法

外国人志願者で入学後、国際交流会館への入居を希望する人は、次のとおり申し込んでください。入居期間は、原則として1年以内とします。

なお、不合格になった場合には、入居することができません。

### (1) 入居申込書請求方法

国際戦略ユニットの窓口で受け取るか、郵送又はE-mailで請求してください。

郵送で請求する場合は、封筒の表に「国際交流会館入居申込書請求」と朱書きし、返信用封筒〔長形3号（12cm×23.5cm）にあて先を明記し、郵便切手80円分を貼ったもの〕を同封してください。

### (2) 入居申込書提出期日

平成26年2月7日（金）まで

### (3) 請求（照会）先・提出先

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号  
熊本大学マーケティング推進部 国際戦略ユニット  
電話番号 096-342-2103  
FAX 096-342-2130  
E-mail gji-ryugaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp

## 8. 注意事項

(1) 出願書類を受理した後は、記載事項の変更及び入学検定料、出願書類の返還はできません。

(2) 障がい等を有する入学志願者で、受験上特別な配慮を希望する者は、平成26年2月7日（金）までに薬学事務チーム教務担当へご相談ください。

### 【出願書類送付先】

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号  
熊本大学学生支援部入試ユニット

### 【問合わせ先】

〒862-0973 熊本市中央区大江本町5番1号  
熊本大学教育研究推進部生命科学系事務ユニット  
薬学事務チーム教務担当

TEL 096-371-4635

FAX 096-371-4639

E-mail: sky-kyomu@jimu.kumamoto-u.ac.jp

ウェブサイト: <http://www.pharm.kumamoto-u.ac.jp/phagrad/>



## 出願資格の審査

### (1) 出願資格審査に必要な書類

- ① 出願資格審査申請書〔所定の用紙〕
- ② 最終学校の修了（卒業）証明書又は修了（卒業）見込証明書
- ③ 最終学校の成績証明書
- ④ 研究等従事内容証明書〔所定の用紙〕
- ⑤ その他、参考となるもの（あれば提出してください。）

### (2) 資格審査申請書等の提出期間

平成26年2月17日（月）から2月21日（金）まで

（注）郵送の場合は「書留」とし、封筒表面に「大学院薬学教育部出願資格審査申請書類在中」と朱書きしてください。

〔提出先〕

〒862-0973 熊本市中央区大江本町5番1号 熊本大学教育研究推進部生命科学系事務ユニット  
薬学事務チーム教務担当

### (3) 資格審査の結果

資格審査の結果は、平成26年2月25日（火）までに、本人あてに通知します。

## 個人情報の取り扱い

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 合格者の氏名等を入学手続に係わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の氏名等を入学後の学籍管理など修学に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者及び学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除・授業料免除及び奨学生選考など修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 個人が特定できないように統計処理したデータを、入学者選抜に関する調査・研究等で利用します。

※本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

熊本大学大学院薬学教育部 指導教員および研究内容一覧

指導教員	研究内容
教授 有馬 英俊	◎シクロデキストリンを基盤分子とする個の医療を指向した統合型DDSの構築
教授 石塚 忠男	◎光学活性化化合物の汎用的合成法の開発 ◎不斉分子認識化学:キラリティの起源解明と薬学への応用
教授 今井 輝子	◎薬物代謝酵素の機能解析とそれに基づくドラッグデザイン
教授 入江 徹美	◎病態情報の解析と薬剤投与の最適化に関する研究
教授 浦野 徹	◎実験動物における病原微生物感染症及び腫瘍内細菌叢に関する研究
教授 大塚 雅巳	◎細胞内シグナル伝達を制御する化合物の設計と合成
教授 大槻 純男	◎定量的標的プロテオミクスを基盤としたがん個別化治療に関する研究 ◎多層オミクス解析による新しいがん診断・治療技術への応用
教授 甲斐 広文	◎遺伝性難病の細胞生物学的解析及び創薬ターゲット分子の探索 ◎生体の恒常性維持機構を制御する新たな治療手段の開発
教授 香月 博志	◎難治性中枢神経変性疾患における細胞死の機序解析と神経保護薬の探索
教授 齋藤 秀之	◎臨床薬物動態解析を基盤とした医薬品適正使用に関する研究 ◎薬物動態制御機構の分子・細胞生物学的解析
教授 佐々木 洋	◎マウス初期胚発生における細胞間コミュニケーションの役割の解明。 ◎がん抑制シグナル経路Hippoシグナル経路の発生における役割の解明
教授 杉本 幸彦	◎プロスタグランジン受容体を介した生理機能に関する創薬研究 ◎マスト細胞のゲノムネットワーク解析とアレルギー治療への応用
教授 塚本 佐知子	◎海洋生物・微生物からの医薬品候補化合物の探索 ◎海洋性真菌から得られたアルカロイドの生合成に関する研究
教授 寺沢 宏明	◎炎症性疾患・認知症・フェロモンの機能メカニズムの解明と創薬展開 ◎構造生物学とイメージングに基づく新規手法の開発
教授 中川 和子	◎性別と遺伝情報による副作用・生活習慣病リスクの層別化と個別化医療に係る研究
教授 中島 誠	◎高立体選択的有機合成反応の開発 ◎新しい有機分子触媒の設計とその応用
教授 中村 輝	◎モデル生物(ショウジョウバエ)を用いた生殖細胞形成機構の研究 ◎mRNAの細胞内局在と翻訳の時空間的制御機構の解析
教授 濱田 哲暢	◎抗悪性腫瘍薬の早期・探索臨床研究におけるトランスレーショナルリサーチ ◎抗悪性腫瘍薬の薬物動態・薬力学・薬理遺伝学(PK/PD/Pg)に関する研究
教授 平田 純生	◎腎臓病患者への薬物適正投与に関する研究 ◎薬物の透析性および透析膜への薬物吸着に関する研究
教授 丸山 徹	◎薬物動態に關する機能性タンパク質の翻訳後修飾に関する医療薬学的研究
教授 三隅 将吾	◎HIVのプロテオーム研究 ◎エイズ治療薬開発に関する生化学的基礎研究 ◎タンパク質のミリスチル化・ウイルス発癌・ヒト癌細胞の生化学的研究
教授 森岡 弘志	◎創薬・病態解析・治療法の開発に有効な抗体の分子工学研究 ◎DNA複製・修復関連タンパク質の機能解析
教授 山縣 ゆり子	◎創薬の基盤としての構造生物学研究 ◎核酸やシグナル伝達に関わる蛋白質の構造生物学的研究
准教授 荒木 喜美	◎マウス初期胚・胚性幹細胞を用いた発生工学
准教授 池水 信二	◎免疫系細胞表面受容体及び基質蛋白質の構造生物学的研究 ◎免疫系シグナル伝達蛋白質の構造生物学的研究
准教授 大杉 剛生	◎ヒト細胞白血病ウイルス(HTLV-I)動物モデルの開発・抗HTLV-I治療薬の評価
准教授 大村谷 昌樹	◎遺伝子改変マウスを用いた臓器病(急性肝炎、慢性肝炎、肝臓癌)の研究
准教授 門脇 大介	◎医薬品の抗酸化作用解析を基盤とした慢性腎臓病治療への医療薬学的アプローチ
准教授 黒崎 博雅	◎金属酵素活性機能構造解析とその立体構造に基づいた阻害剤の理論的開発
准教授 小橋川 敬博	◎抗がん剤創製へ向けたチロシンキナーゼの構造生物学的研究
准教授 首藤 剛	◎自然免疫制御分子の発現制御機構の解明 ◎ABCトランスポーター発現・機能制御に基づく新たな創薬研究
准教授 城野 博史	◎慢性炎症性疾患・悪性腫瘍の病態発現メカニズムの解明及び創薬ターゲット分子の探索
准教授 杉浦 正晴	◎循環型化学プロセスを実現する効率的な不斉合成反応の開発
准教授 関 貴弘	◎中枢神経疾患とタンパク質分解系の関連解明とそれをターゲットにした創薬研究
准教授 藤田 美歌子	◎HIVの分子ウイルス学的研究および新規抗エイズ薬の開発
准教授 松永 浩文	◎新概念に基づく超効率不斉合成手法の開発
准教授 本山 敬一	◎シクロデキストリンを基盤分子とするDDS製剤の構築
准教授 矢原 正治	◎薬用植物、漢方薬の新しい機能の解明、および臨床生薬学への応用 ◎世界の薬用・有用植物から創薬をめざして
准教授 渡邊 博志	◎病態時における薬物動態変動因子の解析および臨床応用に関する研究
講師 石塚 洋一	◎小児・新生児領域の医薬品適正使用に関する研究 ◎医薬品有害事象(副作用)のメカニズム解析とその予防・治療法の創成
講師 猿渡 淳二	◎遺伝情報に基づく精神・神経疾患治療薬の個別化投与と設計法の開発

薬学教育部(博士後期課程)入学試験実施状況

平成25年度

専攻名	募集人員	選抜区分	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
創薬・生命薬科学専攻	10	1次募集	一般	0	0	0	0
			社会人	0	0	0	0
			外国人	2	2	2	2
			進学者	8	8	8	7
	若干名	2次募集	社会人	0	0	0	0
	若干名	3次募集	社会人	2	2	2	2
合計			12	12	12	11	

平成24年度

専攻名	募集人員	選抜区分	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
創薬・生命薬科学専攻	10	1次募集	一般	0	0	0	0
			社会人	0	0	0	0
			外国人	1	1	1	1
			進学者	10	10	10	10
	若干名	2次募集	社会人	1	1	1	1
合計			12	12	12	12	

平成24年度10月入学

専攻名	募集人員	選抜区分	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
創薬・生命薬科学専攻	若干名	-	一般	0	0	0	0
			社会人	1	1	1	1
			外国人	1	1	1	1
合計			2	2	2	2	